

社会福祉法人「以和貴会」かわらばん

ぽこ・あ・ぽこ・・・「のんびりと」という意味
お茶でも飲みながら「のんびりと」お楽しみ下さい。



「意識改革」

理事長 下村 卓司

福祉基礎構造改革から始まった一連の福祉改革は、平成25年に制定予定の障害者総合福祉法で結実の時を迎えようとしています。この8月にその方向性を示すべく、障害者制度改革推進者会議総合福祉部会の答申が示されようとしています。福祉関係者は、その答申を注意深く眺めているところです。そこで、今漏れ聞く情報を見る限り、福祉も地域主権になり、その地域の実情に合ったものを地域の責任に於いて整備されて行く事になりそうです。つまり、同じ奈良県であろうともその地域に応じた福祉サービスが展開される事になるので、隣町とわが町は違う事が多くなる可能性がある訳ですから、地域毎の福祉基盤を如何にするかという観点から、しっかりとした意見要望を積極的に行政に届くようにしないとイケないとなると思われます。それは、我々のような福祉事業者だけで無く、福祉サービスを必要とする方々がしっかりと訴えて行かないとイケなくなります。何も言わない国民と見られている日本国民である我々は、本当の意味で意識改革をし、物言う住民にならないと自分達の暮らしが不自由になる時代に突入しているのかもしれないと明日の命に繋ぐ為にも、しっかりと勉強し、他人任せにすることなく自分達の暮らしは自分達で創って行く気概を持たないといけません。

虐待防止を考える

(22年度研究発表表彰課題 要約)

1. 初めに

施設での虐待報道が取り上げられる事が少なくない今・ゆらくの里のスタッフはどのような事を考え、悩み、支援をしているのか？御利用者の皆さまがもっと快適に暮らすにはどうしたらよいのか？などを知りたいと思い一年間、研究を進めてきました。

2. 施設見学の実施

私たちがまず行った事は施設見学でした。京都府木津川市山城町にある『横手通り43番地・庵』と言う強度行動障害者のためのユニット式の施設へ行き、理事長の樋口氏の力のある言葉に触れ施設の中を案内して頂きました。施設内は女性・男性・障害特性などによって棟で分かれており、完全個室でゆらくの里と比べれば御利用者様のプライバシーは守られている様に感じました。

3. 職場アンケートの実施

またスタッフとアシスタントの皆さんにアンケートに答えて頂きました。その結果、スタッフとアシスタントとの回答に大きな相違があるのがわかりました。決められた時間のみ、ゆらくの里で働き、きちんと休憩を取りそこでアシスタント同志で会話をして発散させ、新たな気持ちで仕事に入るアシスタントには気持ちに余裕があり、御利用者様にも優しい気持ちで接する事ができている様でした。

4. 職場の現状

それに比べスタッフは休憩もなかなか取れず、責任も重く、日々の業務に追われ気持ちにゆとりがなく不規則な勤務もあり自分の気持ちをコントロールする事が難しく日々悩みながら勤務をしている事がわかりました。

しかし、私たちはどんな時も仕事に来た時は『支援のプロ』でなくてなりません。

そのためには自信をつける事が大切で研修や本などで勉強をし、心の健康のためにもメンタル面でのケアをする機会が必要な事。

そして何よりも、『初心を思い出す事』が大切であると思いました。

日々の業務に追われ忘れがちになっている『どうしてこの仕事を選んだのか？』と言う気持ちをもう一度思い出し御利用者の皆さまと接する事で、笑顔と共に言葉が優しくなりスタッフが笑顔になれば御利用者の皆さまも笑顔になれる。そう思いました。

今年度入ってからスタッフの人数もだいたい揃い、それぞれがお昼に『休憩』を取ろうという気持ちが強くなり、今はまだ15分～20分ではありますが休憩時間を取れる様になってきました。まだゆらくの里のスタッフは休憩時間の過ごし方に慣れていない様子もあり、どれ位のリフレッシュが出来ているかどうかはわかりませんが、その様な気持ちが高まった事はとても嬉しい事で、御利用者の皆さまにとってもいい影響が出ると信じています。

6. ゆらくの里の課題

一年間、一つの目標に向かってグループのメンバーそれぞれが得意な分野で実力を発揮する事が出来ました。研究発表の準備で帰宅時間がかなり遅くなった事もありました。また進め方が分からなくなって悩んだ時も何度もありましたが先輩方に支えられ、新人スタッフにパワーをもらい一年間、グループ6人で協力して課題を仕上げる事が出来た事を大変嬉しく思います。

研究課題の結果を心に刻み、これからの支援に繋げて行きたいと思っています。

ゆらくの里 (入所支援事業担当) 生活支援員
福本優子・吉田 司・山林 昭
西川英樹・藤井志帆・中岡佐和子

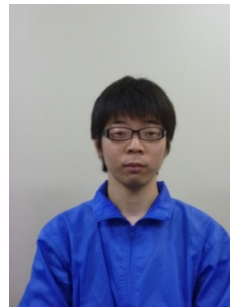
平成23年に社会福祉法人以和貴会へ入社された皆さんです。即戦力として、日々支援に対し前向きに取り組んでおります。ご利用者様により良い支援を行えるよう勉強していきます。皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。



岡 義 雅
所属 我楽（就労支援事業）
サービス管理責任者
「製菓製パン」担当

就労支援施設「今人・我楽」に配属となり、ふえりーちえの利用者の方々と新しいパン作りに

挑戦しています。利用者との関係を大事にしながら、地域の皆様に喜んでいただけるパンを提供し、新生「今人」を地域に発信していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（4月1日入社）



高 井 智 康
所属 今人
「そ〜じや」担当

関西福祉科学大学卒

私は今人で利用者さんと一緒に清掃活動を行っています。

まだまだ未熟者ですが、清掃活動を行なう中で、自分自身もピカピカに磨き上げ、利用者さんの為に役立てていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。（2月1日入社）

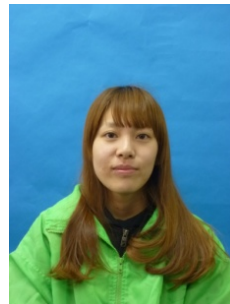


戸 田 ひ と み
所属 ゆらくの里
「入所支援事業」担当

白鳳女子短期大学卒

音楽を聴いたり、買い物や外に出かけることが好きです。

まだまだ分からないこともたくさんありますが、社会人となり新しいスタート地点に立った今の気持ちを忘れずに、利用者の皆様が楽しく過ごしていけるようがんばります。（4月1日入社）



西 岡 麗 奈
所属 ゆらくの里
「入所支援事業」担当

白鳳女子短期大学卒

昨年実習をさせて頂いき、最初どのように接すればいいのかわからず、距離を縮める事が出来ずにいました。

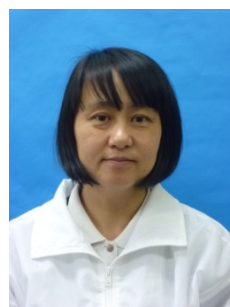
日が経つにつれて距離が縮まり、仕事の楽しさを、実習を通じ実感することができ就職を希望しました。希望していた場所で働ける事に感謝し、利用者の方々にも好かれる様なスタッフを目指していきたいと思ひます。（4月1日入社）



奥 山 雄 治
所属 厨房
調理師

ゆらくの里で勤務するようになり毎日充実した日々を過ごしています。まだまだ見習いですが、ご利用者さんにおいしい料理を提供できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

（5月2日入社）



坂 岡 梨 子
所属 管理部
「事務」(アシスタント)

長い間自宅でできる仕事ばかりしていた上に、今まで福祉関係の仕事をしたことがなく、自分の無知を痛感しています。

利用者様にとってもスタッフの皆さんにとっても、少しでも役に立てるようになるのが現在の目標です。よろしくお願いいたします。（4月1日入社）

（4月1日入社）

ゆらくの里 バーベキュー大会 4月17日



恒例のバーベキュー大会。今年は桜の開花も早く満開後の日曜日に、大変多くのご家族様の参加のもと開催されました。普段以上に食欲旺盛なご利用者様。大変喜んでいただいた1日となりました。

新人職員にとってご家族様との初めての対面機会でもあり、「ご利用者様自身からの満面の笑顔で紹介いただき温かく迎えていただきました。この笑顔を見ることができ、支援者として頑張っているという気持ちになれる一番うれしいことです」と新人職員からの感想です。

今人 入退社式 4月21日

香芝市総合福祉センター内で運営のレストラン「ふれあいキッチンSORA」にて、法人職員、ご家族様、ご利用者様、学校関係者様の総勢 65 名のご参加を頂き開催されました。22年度は3名の方の就職が決定したことで送り出し、23年度は1名の方を迎えることとなりました。式も早々に終了し食事を口にしながら楽しいひと時となりました。一般就労につながる実績が上がっており、県内からも入社希望の紹介が増えてきております。皆様のご期待に添える支援を心がけてまいります。



栄養教室

5月19日

今回は梅雨入り前という事もあり、感染予防を踏まえた完全手洗いについてお話しさせていただきました。

内容は、ヨウ素溶液を使った簡単な実験・体験形式で、洗い残しやすい部分を発色させ目で確認して頂くというものでした。洗い残した部分に変色していく過程では、驚きと笑い声が聞かれ、大変楽しんで頂けたように思います。また栄養教室開催後は、いつもより丁寧に手洗いをしておられる御利用者様の姿が見られました。



香芝市ボランティアフェスティバル 5月28日



香芝市総合福祉センターにおいてボランティアフェスティバルが行われ、フリーマーケットに『ゆらくの里』の日中活動班で製作している商品を販売しました。

当日は、日頃からお世話になっております『生け花クラブ』様にお手伝い頂き、計 24,920 円の売上がありました。当日参加されたご利用者は、「時間が長かったので疲れたが、楽しかった。大勢のお客さんが来てくれてうれしかった。」とのこと。来年も出店したいと考えていますので、足を運んでください。

また、6月の「生け花」の活動時に、当日の写真を用いてポストカード（写真左下）を「お皿と箸置き、大切に使いまわす。」とコメントをいただきご持参いただけました。『生け花クラブ』みなさん、本当にありがとうございました。



《活動班》

- 炎（陶芸班）：お皿など
- 暖（絵画）：
- 心：（プレスレット、ビーズハンガーなど）
- ぷっと：紙漉き（ポストカードなど）

◇ご要望ございましたら「ゆらくの里（0745-77-8788）」までご連絡ください。

法人各施設授産品販売



香芝市総合福祉センターで運営しております「ふれあいキッチンSORA」のレジ横にて、法人各作業班で作成しております授産品（クッキー、お皿、和紙製品、アクセサリなど）を販売しております。

SORAでの食事や福祉センターへお立ち寄りの際は、是非ご覧いただき、お気に入りいただきました時には、ご購入いただければ幸いです。

よろしく申し上げます。

平成22年度 決算報告

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

	借方			貸方			
	一般会計	就労会計	法人計	一般会計	就労会計	法人計	
流動資産	124,167	45,854	170,021	流動負債	14,162	10,554	24,716
現預金	42,939	25,467	68,407	固定負債	20,125	-	20,125
未収入金	76,673	19,698	96,371	負債の部合計	34,287	10,554	44,841
その他の流動資産	4,553	688	5,241	基本金	625,353	-	625,353
固定資産	805,245	27,072	832,317	国庫補助金等特別積立金	164,173	8,758	172,931
基本財産	704,789	3,811	708,601	その他の積立金	30,280	7,300	37,580
その他の固定資産	100,455	23,260	123,716	次期繰越活動収支差額	75,318	46,314	121,632
				(うち当期活動収支差額)	-2,800	5,047	2,246
				純資産の部合計	895,125	62,372	957,498
資産の部合計	929,412	72,926	1,002,339	負債及び純資産の部合計	929,412	72,926	1,002,339

事業活動収支計算書

(自) 平成22年 4月 1日

(至) 平成23年 3月 31日

(単位：千円)

		一般会計	就労会計	法人計		
収支の部	事業活動	収入	就労支援事業活動収入計	-	26,015	26,015
		支出	就労支援事業活動支出計	-	25,721	25,721
			就労支援事業活動収支差額	-	293	293
福祉事業活動収支の部	収入		自立支援費等収入	376,666	55,109	431,776
			補助事業等収入	14,513	6	14,519
			経常経費補助金収入	8,745	3,029	11,774
			国庫補助金等特別積立金取崩額	12,300	320	12,621
			その他の収入	9,211	1,893	11,104
			福祉事業活動収入計	421,437	60,359	481,796
	支出		人件費	268,243	36,873	305,117
			事務費	36,468	5,107	41,575
			事業費	89,915	12,330	102,246
			減価償却費	25,809	1,285	27,095
			その他福祉事業活動支出	125	-	125
			福祉事業活動支出計	420,562	55,597	476,159
	福祉事業活動収支差額	874	4,761	5,636		
支の部	事業活動外	収入	事業活動外収入計	3,966	8	3,975
		支出	事業活動外支出計	4,244	-	4,244
			事業活動外収支差額	-277	8	-268
経常収支差額		597	5,063	5,660		
支の特別部	特別収支	収入	特別収入計	4,166	5,606	12,745
		支出	特別支出計	7,564	5,622	13,187
			特別収支差額	-3,398	-16	-3,414
当期活動収支差額		-2,800	5,047	2,246		

平成23年度 資金収支予算書

(単位：千円)

		一般会計	就労会計	法人計	前年実績	
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業活動収入計	—	46,050	46,050	26,015
	支出	就労支援事業活動支出計	—	44,540	44,540	23,933
		就労支援事業活動収支差額	—	1,510	1,510	2,081
福祉事業活動による収支	収入	自立支援費等収入	374,479	80,993	455,472	431,776
		補助事業等収入	11,000	—	11,000	14,519
		経常経費補助金収入	9,249	5,449	14,698	11,774
		その他の収入	9,124	117	9,242	15,079
		福祉事業活動収入計	403,852	86,559	490,412	473,149
	支出	人件費	272,605	53,220	325,825	305,117
		事務費	21,387	3,635	25,022	41,575
		事業費	87,218	20,723	107,941	102,246
		その他福祉事業活動支出	125	—	125	4,244
		福祉事業活動支出計	381,830	77,578	459,408	453,183
	福祉事業活動資金収支差額	22,021	8,981	31,003	19,966	
施設整備等による収支	収入	施設整備等による収入計	12,000	22,400	23,600	12,745
	支出	施設整備等による支出計	23,000	28,000	51,000	45,602
		施設整備等資金収支差額	—21,800	—5,600	—27,400	—32,857
財務活動による収支	収入	財務活動による収入計	13,000	—	13,000	13,375
	支出	財務活動による支出計	9,000	1,000	10,000	5,450
		財務活動資金収支差額	4,000	—1,000	3,000	7,925
当期資金収支差額合計		4,221	3,891	8,113	—2,885	

平成23年度 事業活動方針

◎法人

HCC：HCCで強固な事業体の構築と単年度経常利益率10%を目指します。

1. H (health) 健康

- ・ご利用者の健康を第一に考え、日中活動及び生活支援の具体的施策を着実に遂行します。
- ・ご利用者に関する疾病や薬歴管理を通じ、多種多様な支援に対する知識を深めます。(怪我/事故/傷病10%削減)
- ・産業医による職員の健康管理。(スタッフの傷病率10%改善)
- ・自己管理によるマネジメント能力向上を目指します。

2. C (color) 個性、特徴

- ・専門性を高めます。
 - ◆長期留学制度導入、チーム表彰制度、個人表彰制度、人事考課制度
 - ◆スタッフ個々のカラーが法人の独自性を向上
- ・事業毎の特徴を打ち出します。
 - ◆テミルプロジェクト・廃油リサイクル・アート・パン・カフェ等々

3. C (clean) 整理整頓・清掃

- ・整理
 - ◆全ての事業活動を見直し、無駄は極力排除します。
 - ◆効率性だけを求めてはいけません、明らかな無駄は排除します。
 - ◆新たな展開は整理から始まります。新規事業も整理する事から始まります。
- ・清掃
 - ◆今一度全員で清掃をします。(正規スタッフが率先して)
 - ◆トイレは心を写す鏡であります。

4. その他

- ・PDCAの実行
 - 「報・連・相」の大切さを認識し、PDCAの実行及び、経営戦略会議において四半期ごとの確認と見直しを行います。
- ・リスク管理
 - 大災害が起こった時のために、施設環境や食の確保など見直しが必要。今できる最大限の準備に取り組みます。

日本財団助成金決定！

ワークサポートセンター今人のパン製造販売「ふえり～ちえ」では、8月1日よりこれまでの「冷凍生地」から「粉からの生地製造」に移行します。地域の方へおいしいふんわりパンをお届けします。販路を拡大して売上倍増を目指し、ご利用者への工賃をアップすることを実現します。製造能力増強のため、日本財団様に申請しておりましたところ、助成が決定したこと報告いたします。また今後の実績作りをおこない、店の出店の助成を頂ける様頑張っております。

助成金の用途：オープン、冷蔵庫、フライヤー、
分割機など



(写真は現在の製造作業場風景)

《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を有効に活用させていただきます。多くの利用者のために使用させていただきます。

《ゆらくの里》

宮岡徹、原田賢三、平岡靖介、宮崎淑子、樋田稔枝、正木護、久世博子、大場利子、宇野恭子、西川猛、小笠原憲史、木下和男、川本元一

《地域事業》

平田義美、北川恭子、高司示現

《業者ほか》

クボタ食品工業

(順不同、敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を大募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。

《編集後記》

3月11日に起こりました「東日本大震災」におきまして被災されました皆様方に、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りいたします。
ゆらくの里家族会様をはじめ、義援金にご協力いただきありがとうございました。

発行： 社会福祉法人 以和貴会
住所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者： 理事長 下村 卓司
Mail： office@yuraku.or.jp
発行： 平成23年8月